

2018（平成30）年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2018（平成30）年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月22日開催の評議員会、引き続き開催の理事会で承認されました。

本学が2014年に創立150周年に向けて策定した「AOYAMA VISION」では、グローバル化の推進、ボランティアセンターの設置、大学新図書館建築など様々な施策を計画し、現在各設置学校及び法人各部署が連携して、計画の実現に向けて取り組んでおります。

2017年11月には、「AOYAMA VISION」実現のために、課題を明確化し、具体的な取り組みを示した「AOYAMA VISION パワーアップ宣言」、及びこれらの実現を経営面で支える「青山学院・新経営宣言」という、本学の今後の成長・発展の両輪ともなる二つの宣言を発表しました。経営に関する新たな戦略である「新経営宣言」を軸として、より良い教育・研究と社会貢献の実現のために、今後とも確固たる財政基盤を構築してまいります。

2018年4月には、青山アカデメイア（社会人講座）が開講し、シンギュラリティ研究所の開設も予定されています。これらの計画の実現や運営に必要な財政基盤の強化のために、募金活動の活性化による寄付金の拡大、補助金や受託研究など外部資金獲得へ向けた取り組みを推進する一方、2015年度に見直しを行った予算編成方法を継続し、収入予算の一定枠内で支出予算を組み立てることにより、学内での収入増への意識を高めるとともに、経常収支差額の確保に努めています。

当年度の予算編成に先立ち、2017年7月3日に理事長名で「2018年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①「AOYAMA VISION」の実現、②サービス・ラーニング、グローバル教育による教育の質の向上、③既存予算の抜本の見直し、④AOYAMA VISION 募金の推進、⑤寄付金や受託事業収入の拡大」などを支出予算、収入予算の編成方針とし、これらにより教育・研究の充実と財政基盤の強化を図ることを基本方針とするものです。

当年度予算の収入面では、前年度予算に比べると、学生生徒等納付金は大学の学費改定（2016年度に改定し3年目）や2015年度開設学部 of 学年進行、高等部、中等部の学費改定などにより増収を見込み、寄付金は万代基金の強化に取り組んでまいります。

一方支出面では、「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策、大学新学部開設準備にかかる費用を予算に計上いたしました。また各設置学校、法人各部署は支出予算の目的を検証し、抜本的な見直しを行うことで、新たな施策のための予算を織り込んでおります。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① 青山キャンパス再開発の一環として of 中等部校舎建替工事費用（第二期）
- ② 青山キャンパス受変電設備更新工事費用
- ③ 法令改正に伴う各キャンパス建物大規模天井落下防止対策工事費用
- ④ 大学新学部開設準備にかかる施設改修費用・広報事業費用
- ⑤ 「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策のための費用

等があります。